



TYO 5290

株式会社ベルテクスコーポレーション

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月15日

1

事業紹介と外部環境

P.02

2

ビジネスモデルとつよみ

P.07

3

2020年3月期 決算概要

P.12

4

2021年3月期 業績予想
中期経営計画の進捗

P.20

参考資料

P.30

1 事業紹介と外部環境

2. ビジネスモデルとつよみ
3. 2020年3月期 決算概要
4. 2021年3月期 業績予想/中期経営計画の進捗

参考資料

1-1. 事業セグメント紹介

コンクリート事業

事業内容:

マンホール、ヒューム管、ボックスカルバート等のコンクリート二次製品の製造・販売、その関連商品の販売、これら製品の据付工事、並びにメンテナンス



事業会社:

(連結子会社)

ゼニス羽田、ホクコン、ゼニス建設

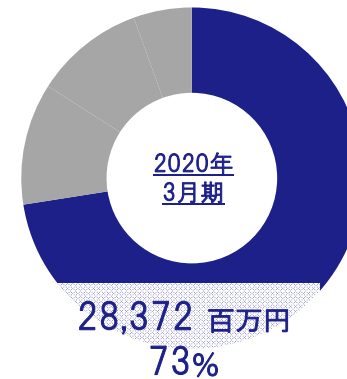
ホクコンプロダクト、北関コンクリート工業、ユニバーサルビジネス企画
東北羽田コンクリート、ディーシー(2020.4.1~)

(持分法適用関連会社)

鶴見コンクリート

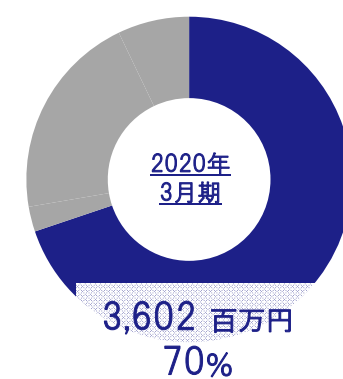
■売上高/構成比

(単位:百万円)



■セグメント利益構成比

(単位:百万円)



※1. セグメント利益は、セグメントに帰属しない全社費用をセグメントに配分しない数値を記載しております。
 ※2. セグメント利益構成比は、セグメント利益の合計値に占める比率を記載しております。

パイル事業

事業内容:

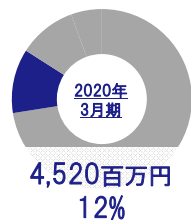
遠心カプレストレスコンクリートパイルの製造・販売、並びに杭打工事

事業会社:

ホクコンマテリアル

■売上高/構成比

■セグメント利益構成比



防災事業

事業内容:

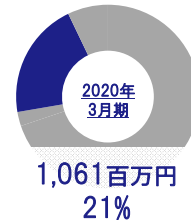
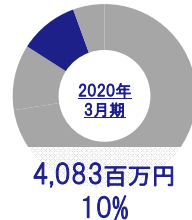
落石防護柵等の防災製品の製造・販売、関連商品の販売、並びに設置工事

事業会社:

ゼニス羽田、ゼニス建設

■売上高/構成比

■セグメント利益構成比



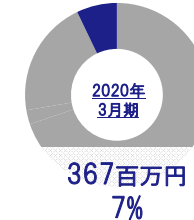
その他事業

事業内容:

- セラミック製品の製造・販売及び機器レンタル
- RFID(非接触タグ)の販売
- コンクリートの調査・試験
- システム開発・販売
- 不動産の賃貸等

■売上高/構成比

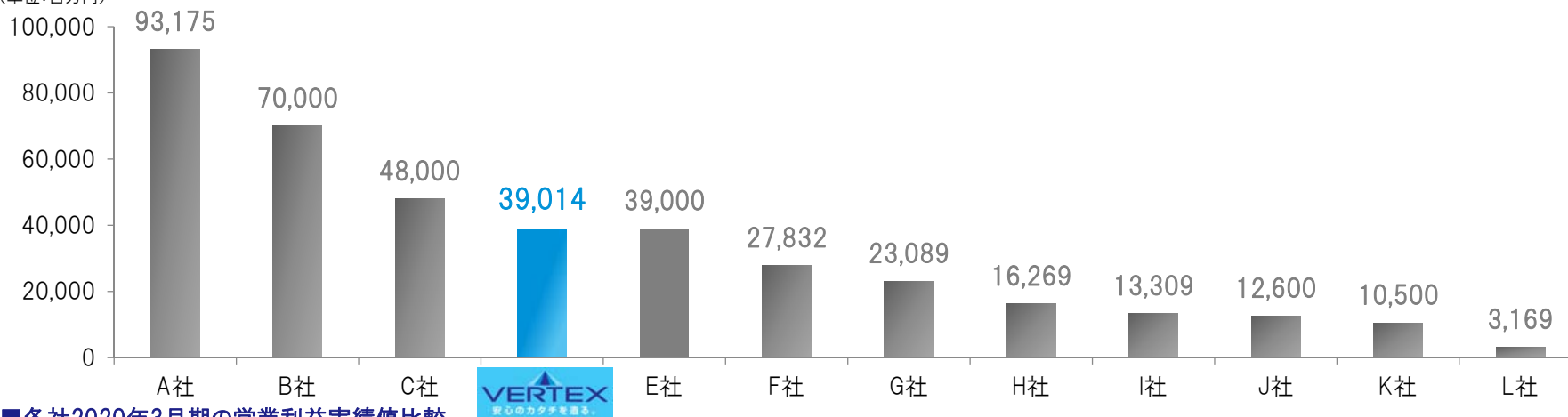
■セグメント利益構成比



高い技術力を活かしたビジネスモデルにより、業界内でも高い営業利益を誇る

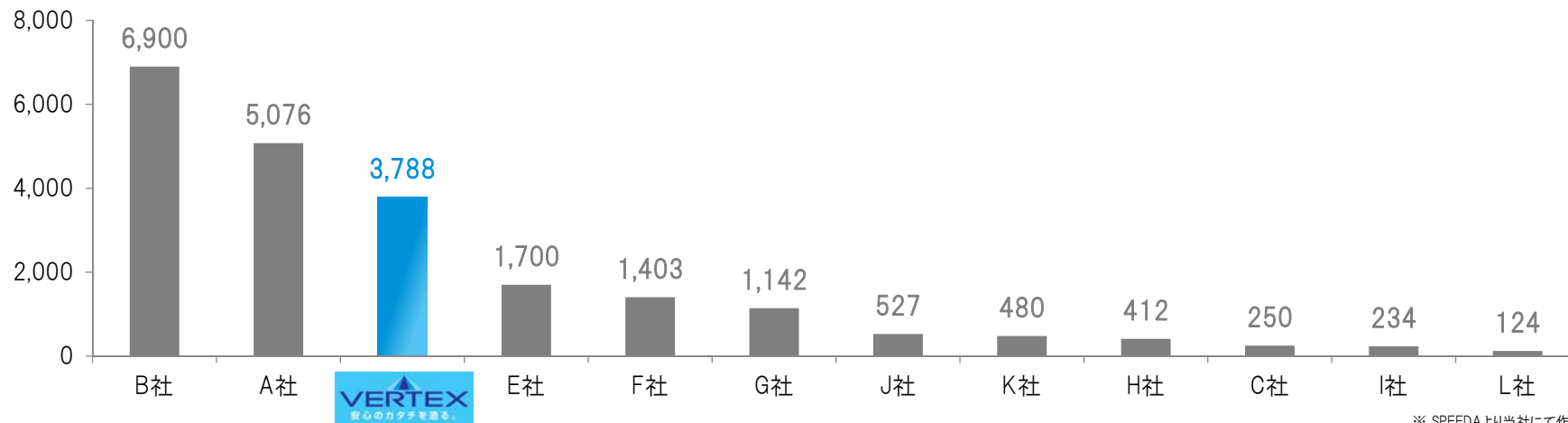
■各社2020年3月期の売上高実績値比較

(単位:百万円)



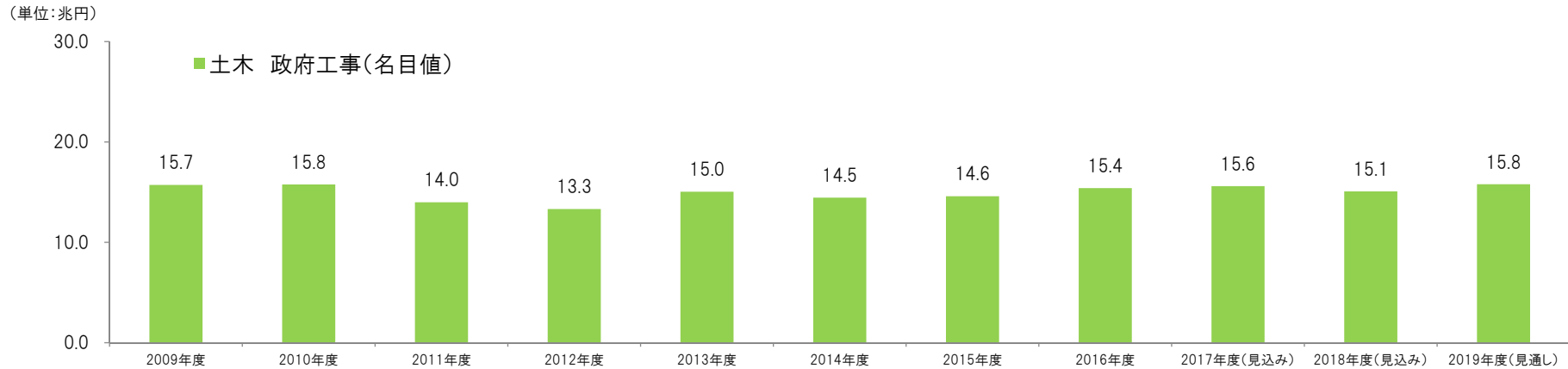
■各社2020年3月期の営業利益実績値比較

(単位:百万円)

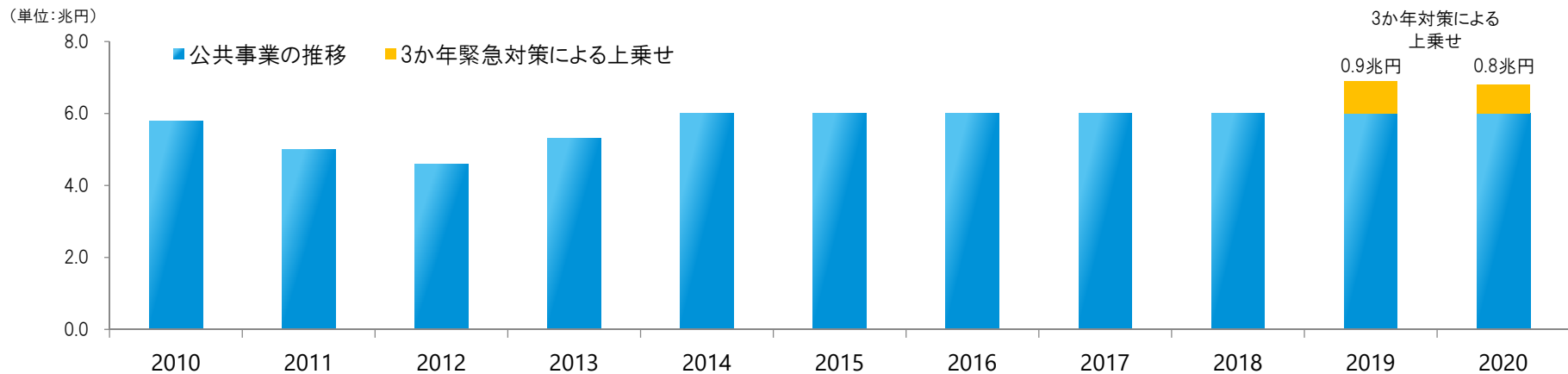


※ SPEEDAより当社にて作成
 ※当該会社の決算時期が3月以外の場合は、直近の決算時期を掲載
 ※一部企業は決算発表延期に伴い、比較用の参考値として業績予想値を記載しております

安定的な公共工事予算に加えて、国土強靱化政策により
当社事業範囲である防災・減災の分野を中心に増加傾向



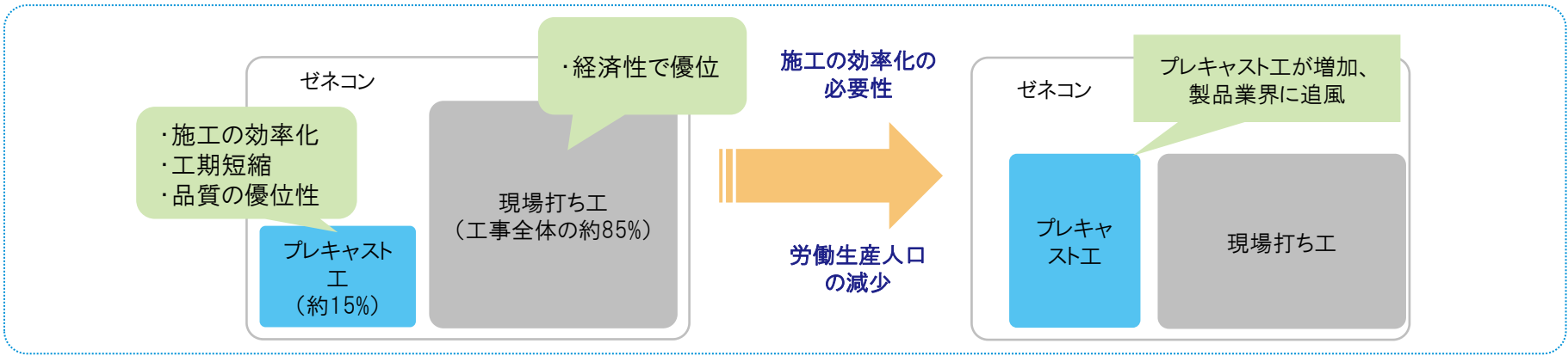
国土交通省 総合政策局 建設経済統計調査室作成 「令和元年度 建設投資見通し」より作成



内閣府 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」特集サイト
および 平成31年度国土交通省・公共事業関係予算のポイント「公共事業関係費の推移」より作成

i-Construction

国交省が推進する取り組み：
「ICTの全面的な活用(ICT土工)」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指そうとするもの



プレキャストコンクリート工法とは？
工場などであらかじめ製造されたコンクリート製品を現場へ持ち込み、組み立てる工法

	施工性	経済性	特徴
プレキャスト工	◎	※	製品の現場での設置は、同じものを連続して設置するケースが多く、熟練した作業員は必要なく効率良く施工が可能。また、天候の影響を受けにくく作業性が良い。
現場打ち工	△		土工、鉄筋工、型枠工、コンクリート工などの専門性の高い熟練した作業員が必要となり、働き手が不足している状況では効率が悪く、また、天候の影響を受けやすく、作業性に劣る。

※ 現状においては直接工事費のみの比較を行い、現場打ち工が優位とされていますが、将来的には、設計費、施工期間、通行規制とそれに関連する経済損失を総合的に比較勘案することとなり、プレキャスト工の方が優位と見なされるケースが増えることが予想されています

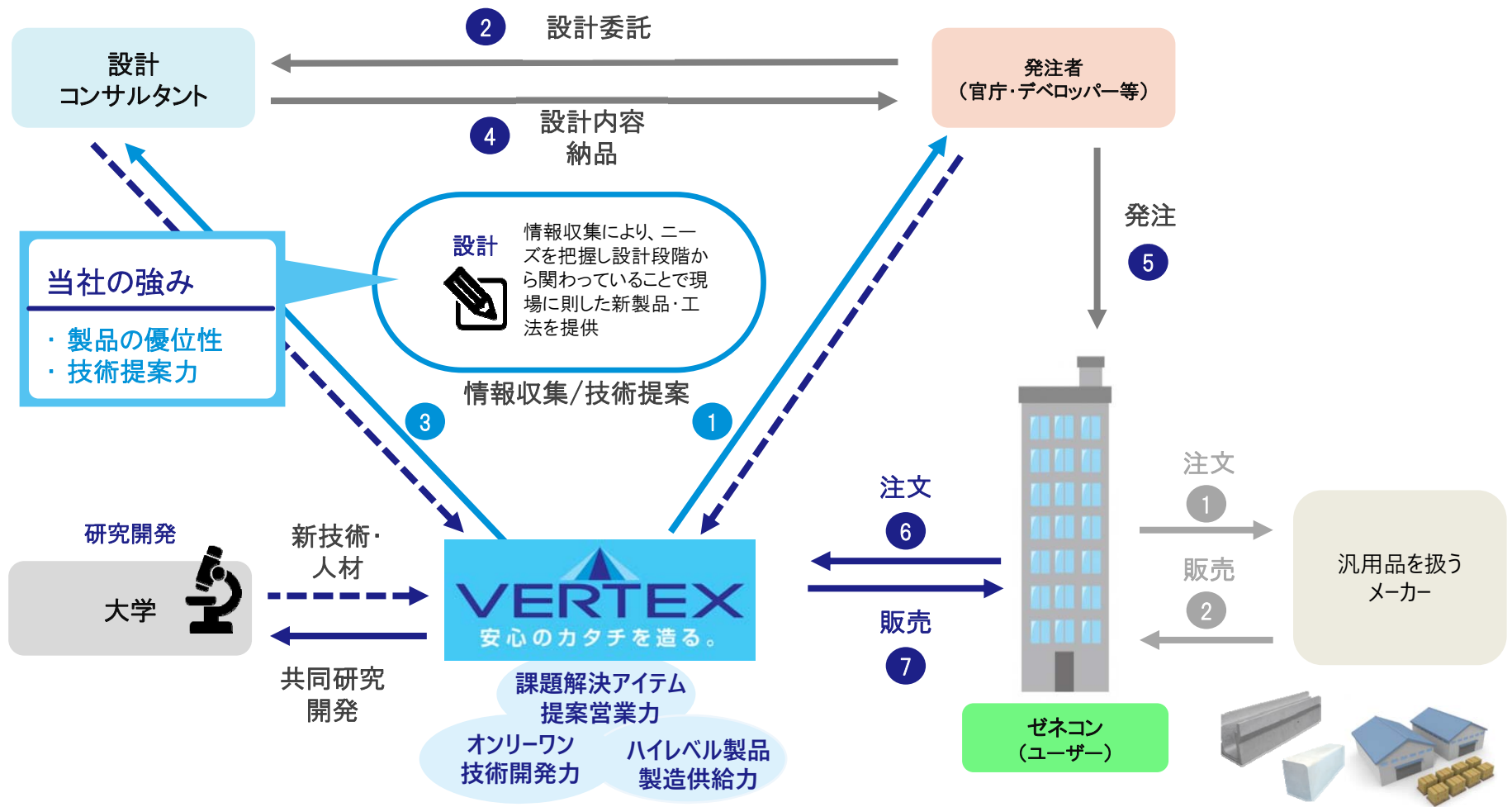
1. 事業紹介と外部環境

2 ビジネスモデルとつよみ

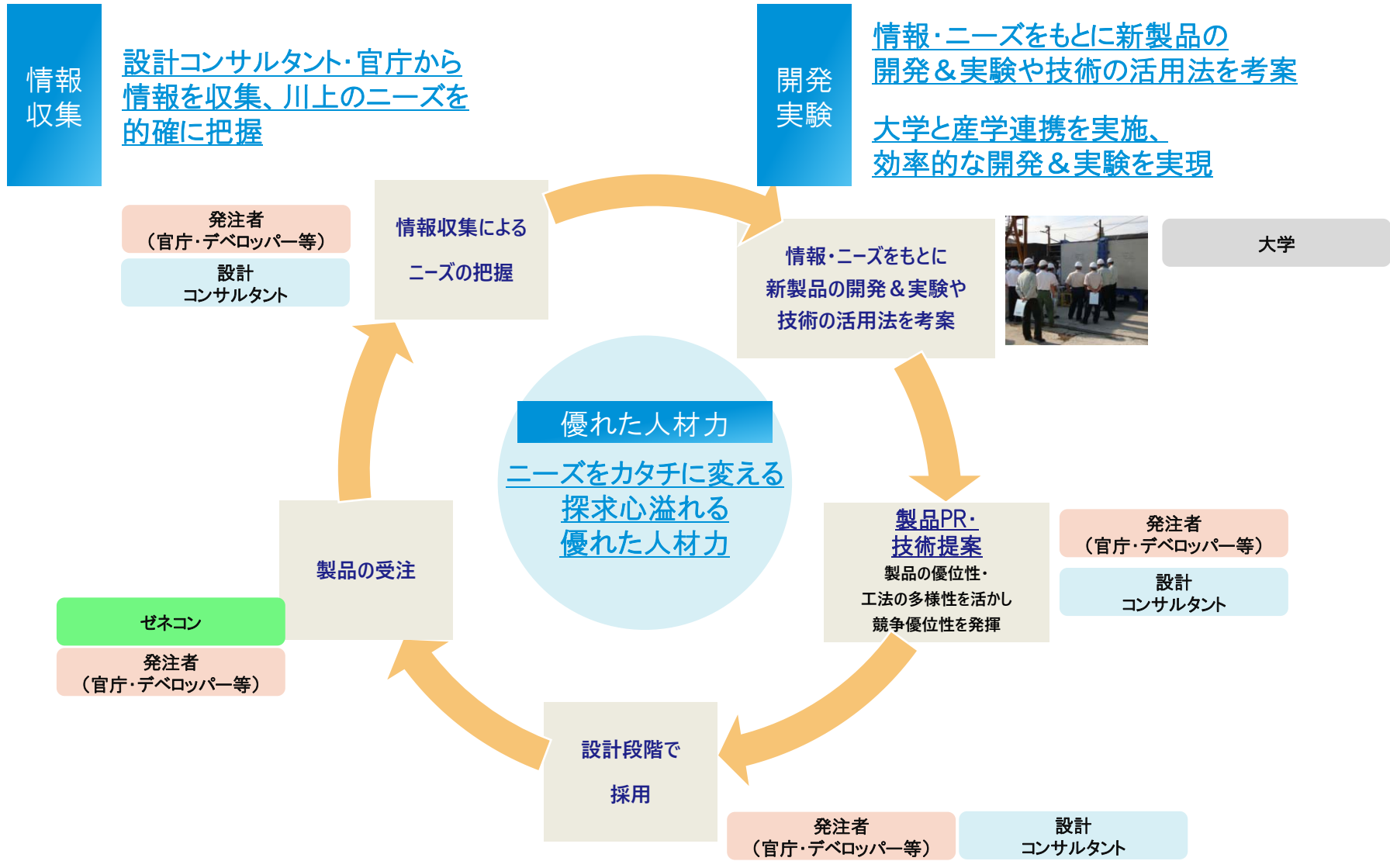
3. 2020年3月期 決算概要

4. 2021年3月期 業績予想/中期経営計画の進捗
参考資料

設計段階から製品PRや技術提案を行うことにより
価格競争になりにくい独自のビジネスモデルを構築



当社の強みである「製品の優位性」「技術提案力」を支える3つの要因




「製品の優位性」「技術提案力」を活かしやすい領域

下水道事業・浸水対策事業


- ・設計段階から関わっているため、ニーズに適したプレキャスト工法・製品を市場に供給可能
- ・過去の実績とNo.1製品を多く所有することがブランド力となり競争優位性となっている

No.1製品	No.1製品	No.1製品	No.1製品	No.1製品
ボックスカルバート	ヒューム管	マンホール (円形)	マンホール (矩形)	落差マンホール
				地下雨水貯留施設

鉄道事業



➔




駅のホームドア対応床板設置工事 (施工後)

防災事業

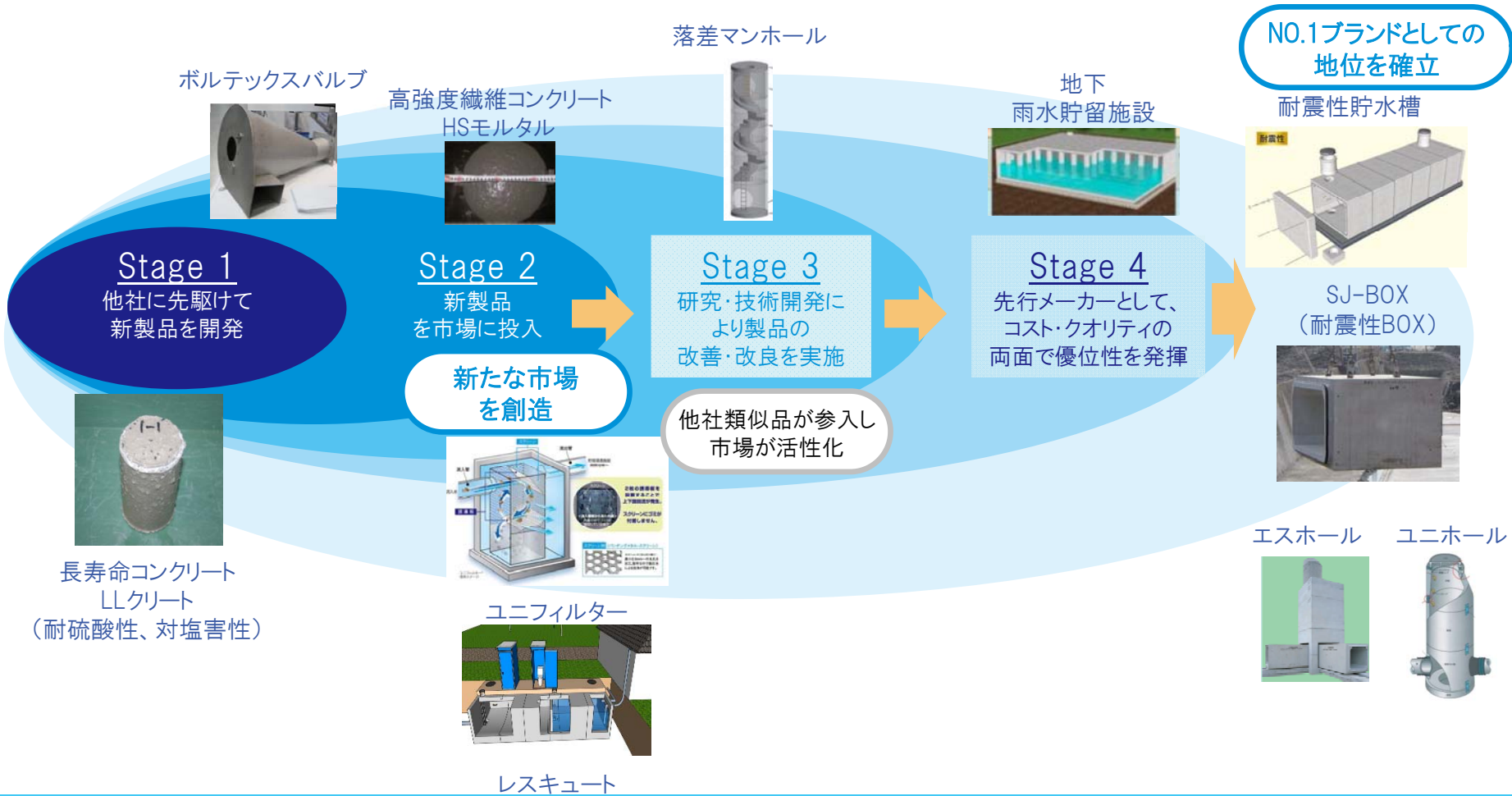


高エネルギー吸収型 落石防護柵



ループフェンスE(土砂対策用)

他社に先駆けて新製品を市場に投入することで優位性を発揮、
No.1ブランドとしての地位を確立



1. 事業紹介と外部環境
2. ビジネスモデルとつよみ

3 2020年3月期 決算概要

4. 2021年3月期 業績予想/中期経営計画の進捗
参考資料

- コンクリート事業においては、中核事業会社の積極的なシナジー効果の発現に努め、主力製品の統一・販売品目の選別、最適な生産・販売体制の再構築を実施したほか、工期短縮要請に対応するオールプレキャストの提案、大型物件の納入が順調に推移した結果、売上高、営業利益とも順調に推移しました。
- 防災事業においては、落石及び土砂用の防護柵の需要の高まりと、多様な製品群の開発、それに加えて生産設備を増強した結果、売上高、営業利益とも順調に推移しました。
- 新型コロナウイルスによる、2020年3月期における直接的な業績への影響は軽微です。

3-2. 2020年3月期 連結損益計算書

- 業績予想を上回る実績を確保しました

(単位:百万円)	2019/3期 実績	業績予想 (修正後)	2020/3期 実績	前期比		業績予想比	
				(額)	(率)	(額)	(率)
売上高	29,701	38,500	39,014	9,313	31.4%	514	1.3%
営業利益	2,516	3,400	3,788	1,272	50.6%	388	11.4%
営業利益率	8.4%	8.8%	9.7%	—	—	—	—
経常利益	2,694	3,600	3,959	1,265	47.0%	359	10.0%
経常利益率	9.0%	9.3%	10.1%	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,934	2,300	2,336	△ 3,598	△60.6%	36	1.6%
当期純利益率	19.9%	5.9%	6.0%	—	—	—	—

※ 2019年3月期の実績は、旧ゼニス羽田ホールディングスの通期とホクコンの下期の合算数値となっており、ホクコン上期の数値は含まれておりません。
 ※ 2020年2月14日付で業績予想の修正を実施いたしました。

3-3. 2020年3月期 セグメント別業績

■セグメント別売上高

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比	
			(額)	(率)
コンクリート	22,128	28,372	6,244	28.2%
パイル	2,870	4,520	1,650	57.5%
防災	2,772	4,083	1,311	47.3%
その他	1,929	2,039	110	5.7%

■セグメント別営業利益

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比	
			(額)	(率)
コンクリート	2,628	3,602	974	37.1%
パイル	45	128	83	184.4%
防災	602	1,061	459	76.2%
その他	352	367	15	4.2%

※ 2019年3月期の実績は、旧ゼニス羽田ホールディングスの通期とホクコンの下期の合算数値となっており、ホクコン上期の数値は含まれておりません

コンクリート事業

事業会社:
(連結子会社)

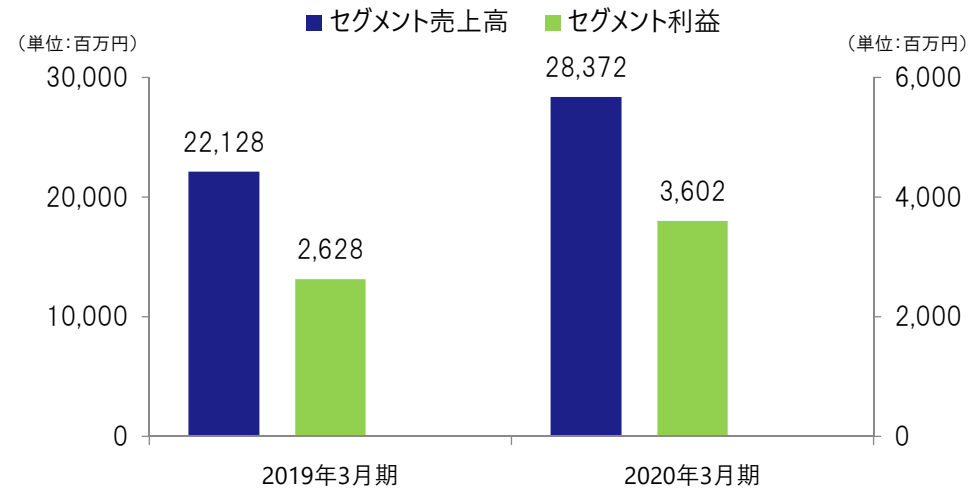
ゼニス羽田、ホクコン、ゼニス建設 他

事業内容:

マンホール、ヒューム管、ボックスカルバート等のコンクリート二次製品の製造・販売、その関連商品の販売、これら製品の据付工事、並びにメンテナンス



■売上高/セグメント利益



※1. セグメント利益は消去または全社費用の考慮を行っていない数値を記載しております
 ※2. 2019年3月期は、旧ゼニス羽田HD分の通期とホクコン下期の合算数値となっており、ホクコン上期の数値は含まれておりません

セグメント別施策と進捗:

- ◆ シェアNo.1製品:粗利率を維持したうえでの確実な受注の積上げ
- ◆ 浸水対策・メンテナンス・鉄道分野等の有望分野にも注力
- ◆ 差別化製品群による市場創造活動の継続



ボックスカルバートの販売数量は、対前年比約2.5億円(約5,000トン)の増加



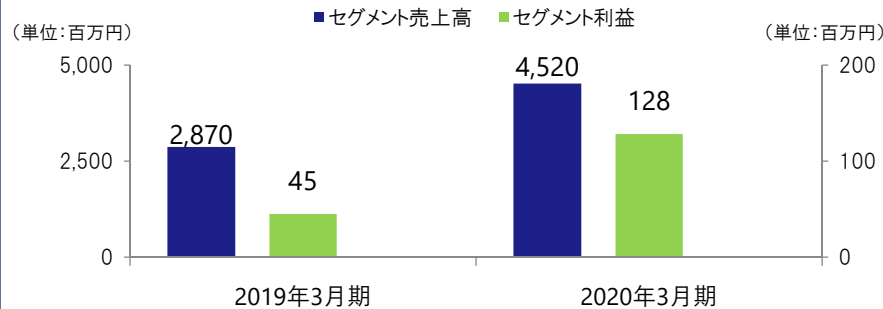
鉄道分野のホームドアスラブの販売数量は順調に増加



発注者・設計コンサルタントを中心に多数のプレゼンテーションを実施。また、複数の大学との共同研究を進行中

パイル事業

事業内容: 遠心カプレストレスコンクリートパイルの製造・販売、並びに杭打工事
 事業会社: ホクコンマテリアル



セグメント別施策と進捗:

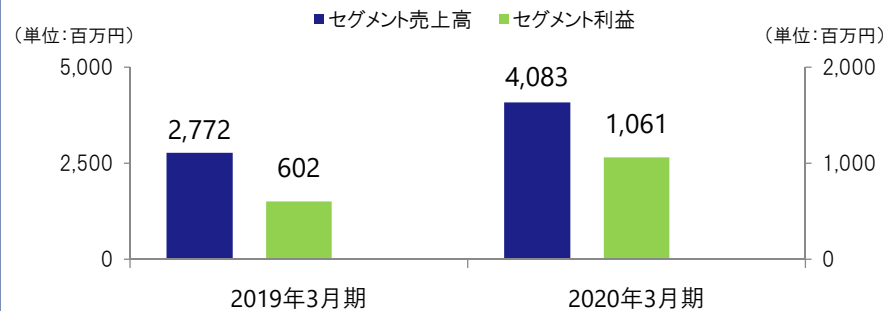
- ◆ アライアンス強化による収益性の維持・改善



遠方地域へのOEM生産拡大と、
 自社開発のFP-BESTEX工法・ハイパーストレート工法の工
 事比率アップ、及び大型物件の工事原価・品質管理強化に
 より、売上高総粗利率が5.0ポイント改善

防災事業

事業内容: 落石防護柵等の防災製品の製造・販売、関連商品の販売、並びに設置工事
 事業会社: ゼニス羽田
 ゼニス建設



セグメント別施策と進捗:

- ◆ 生産能力拡大・納期短縮による適時受注の拡大 → 生産設備を増強し、生産数は対前年比150%超に改善し、納期に関しては対前年比10%超の短縮を実現
- ◆ 落石防護分野での新製品開発 → MJネット、ライトバリア、ループフェンスで数種類の新製品を開発
- ◆ 砂防分野への進出 → 販売を開始した土砂用ループフェンスでは、順調に販売を拡大中

※1. セグメント利益は消去または全社費用の考慮を行っていない数値を記載しております
 ※2. 2019年3月期は、旧ゼニス羽田HD分の通期とホクコン下期の合算数値となっており、ホクコン上期の数値は含まれておりません

3-6. 2020年3月期 連結貸借対照表



- 引き続き安定した財務基盤を維持しております

(単位:百万円)		2019/3期 実績	2020/3期 実績	前期比
資産合計	現預金	8,332	8,574	242
	売上債権	14,558	13,697	△ 861
	棚卸資産	4,325	3,830	△ 495
	その他流動資産	613	607	△ 6
	有形固定資産	12,483	11,604	△ 879
	無形固定資産	172	152	△ 20
	投資その他の資産	3,084	3,578	494
		43,569	42,046	△ 1,523
負債合計	仕入債務	9,226	7,062	△ 2,164
	有利子負債	4,869	4,528	△ 341
	その他負債	7,524	7,357	△ 167
			21,620	19,031
純資産合計	株主資本	20,571	21,830	1,259
	その他包括利益累計額	1,377	1,224	△ 153
		21,949	23,014	1,065
(純資産比率)		50.3%	54.7%	
負債・純資産合計		43,569	42,046	△ 1,523
ネットキャッシュ(百万円)		3,463	4,046	
D/Eレシオ(倍)		0.23	0.20	

- 自己株式の取得と配当金の支払い支出により財務活動による資金支出が大きくなりました

(単位:百万円)	2019/3期 実績	2020/3期 実績	前期比
現金及び現金同等物の期首残高	6,398	7,425	1,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,078	2,942	864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,272	△ 1,157	1,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 468	△ 1,504	△ 1,036
現金及び現金同等物の増減額	△ 664	281	945
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	1,691	—	△ 1,691
現金及び現金同等物の期末残高	7,425	7,706	281

1. 事業紹介と外部環境
2. ビジネスモデルとつよみ
3. 2020年3月期 決算概要

4

2021年3月期 業績予想/ 中期経営計画の進捗

参考資料

新型コロナウイルスが与える業績への影響

- 2021年3月期の業績予想に関して、新型コロナウイルスの影響は織り込んでおりません

感染防止策として実施している取り組み

本社・営業所

- 原則在宅勤務の実施、止むを得ない出勤者へは時差出勤の取り組み
- 1日2回の検温の実施
- 会議等の打合せはWeb会議の活用

工場

- 従業員の毎朝の体温報告
- アルコール消毒の励行
- 職員同士の食事中の会話禁止
- 業務での会話は2m以上離れ、全員のマスク着用の厳守
- 事務所受付カウンターにビニール幕を設置し、飛沫感染防止対策の実施
- 外来検査は可能な限りリモートでの対応を依頼

4-2. 2021年3月期 業績予想



	2020/3期 実績	2021/3期 予想	業績予想比	
			(額)	(率)
(単位:百万円)				
売上高	39,014	40,000	986	2.5%
営業利益	3,788	4,000	212	5.6%
営業利益率	9.7%	10.0%	—	—
経常利益	3,959	4,000	41	1.0%
経常利益率	10.2%	10.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,336	2,500	164	7.0%
当期純利益率	6.0%	6.3%	—	—

4-3. セグメント別業績予想

■セグメント別売上高目標

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 業績予想
■ コンクリート	28,372	30,241
■ パイル	4,520	3,505
■ 防災	4,083	4,100
■ その他	2,039	2,155

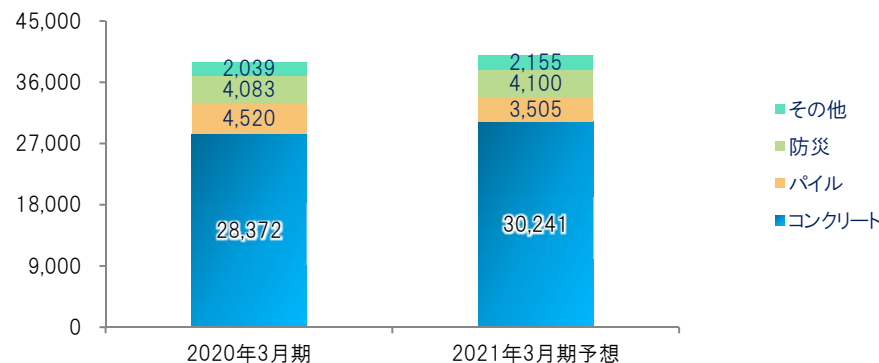
■セグメント別営業利益目標

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 業績予想
■ コンクリート	3,602	3,716
■ パイル	128	179
■ 防災	1,061	1,070
■ その他	367	435
(調整額)	△1,370	△1,400
連結	3,789	4,000

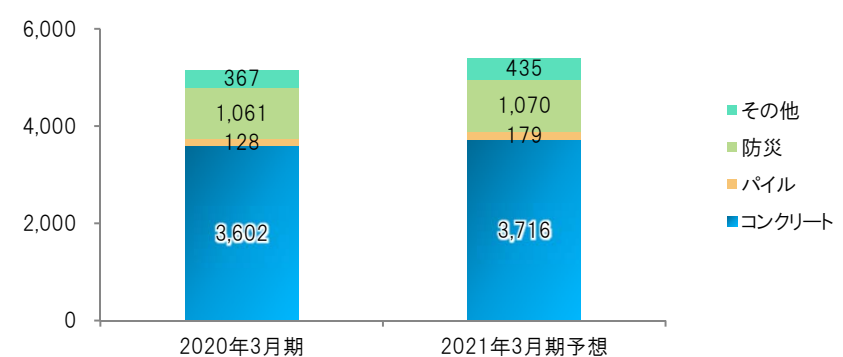
■セグメント別売上高目標

(単位:百万円)



■セグメント別営業利益目標

(単位:百万円)

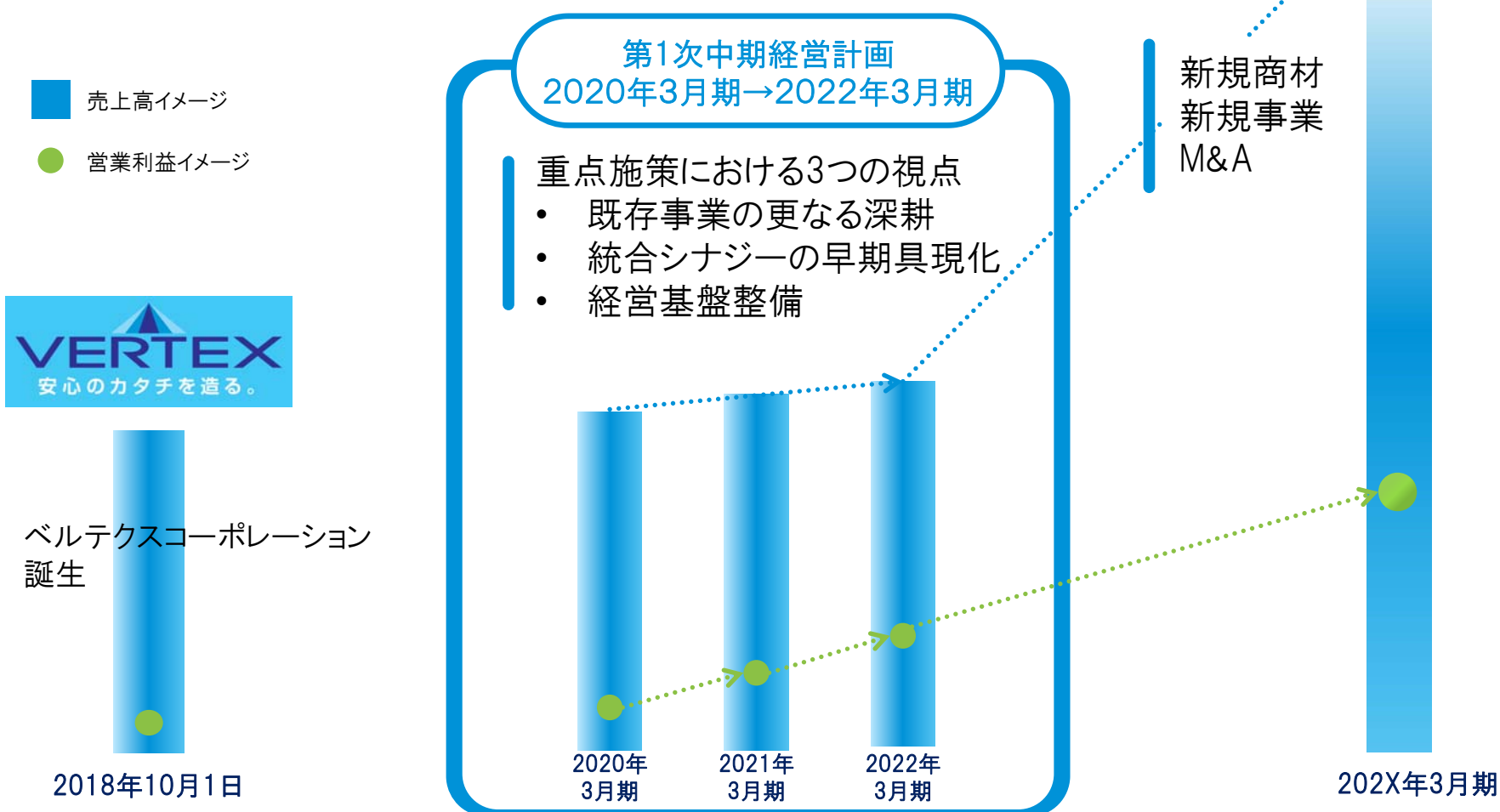


※売上高・セグメント利益は消去または全社費用の考慮を行っていない数値を記載しております

第1次中期経営計画(2020年3月期→2022年3月期)

(基本方針)

- 持続的成長を可能とするための経営基盤整備に重点を置く
- 経営統合シナジーの確実な具現化を通じ、利益率の改善を図る



ベルテクスコーポレーション
誕生

2018年10月1日

2020年3月期
2021年3月期
2022年3月期

202X年3月期

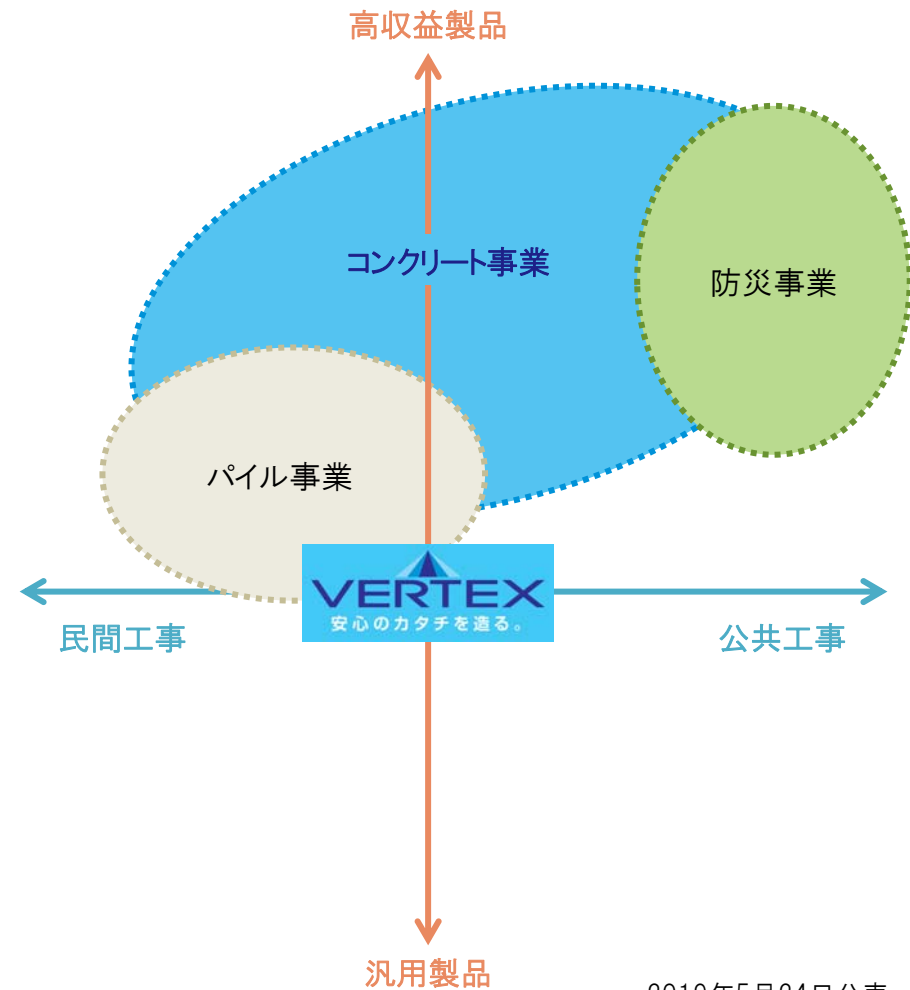
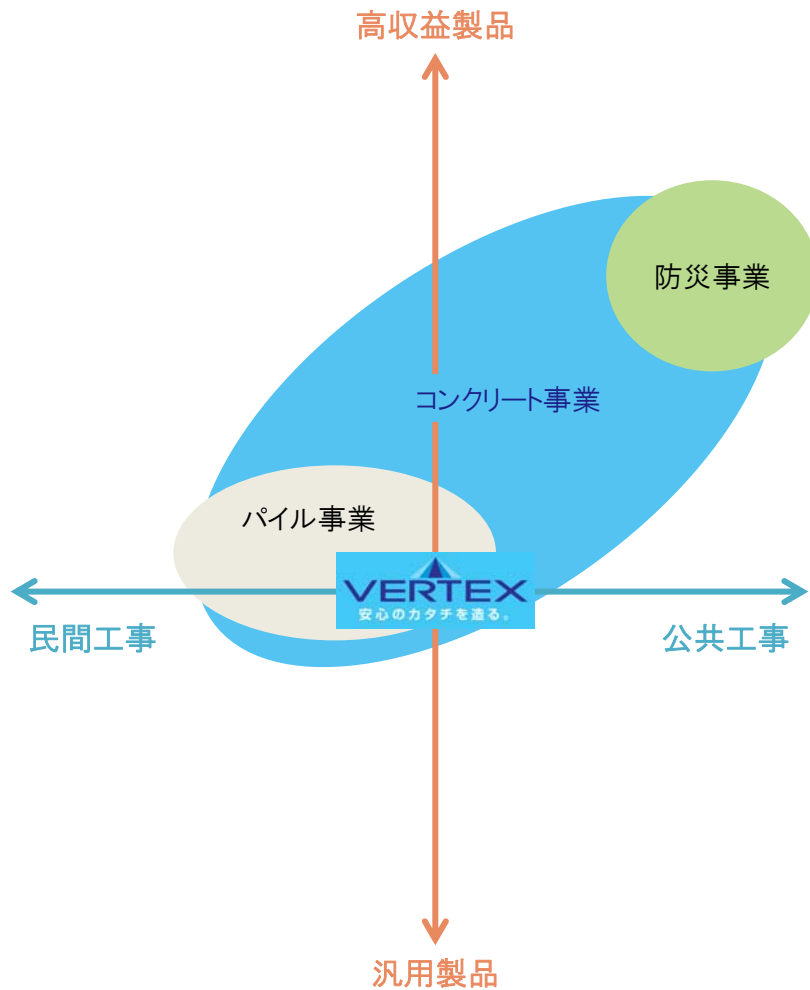
4-5. 主要セグメントプロット図 (2019年5月24日公表)

2019年5月



目標

3年後の目指す姿



2019年5月24日公表

- 下記事項を中心とした各種PMIプロジェクトを推進し、利益率の改善を図ります

発表時の施策内容

現在の進捗状況

施策1

- ◆ 主力製品の統一・販売品目の選別



- 主力製品の耐震性貯水槽と耐震性ボックスカルバートは、両社ブランドを統一して拡販中
- その他の製品も統一ブランド化の模索中

施策2

- ◆ 最適な生産・販売体制の再構築



- 関東の工場を3工場に集約して生産性を向上させ、シナジー効果として全工場の有効活用を図り、遠距離輸送のコスト削減を実施
- ダクター・高強度モルタル生産設備増強
- 営業拠点の集約・統合は早期に完了

施策3

- ◆ 研究開発テーマの共有・整理



- 両社の研究開発進捗の共有を実施
- 防災減災へ向けて新商品開発

PMIプロジェクト: Post Merger Integration Project

M&A(企業の合併・買収)成立後の統合プロセスのこと。新しい組織体制の下で当初企図した経営統合によるシナジーを具現化するために、企業価値の向上と長期的成長を支えるマネジメントのしくみを構築、推進するプロセスを実施するプロジェクト

4-7. 持続的成長を可能とする経営基盤の整備の進捗状況

- 持続的成長を可能とするため、下記事項を中心に経営基盤の整備・強化に取り組みます

発表時の施策内容

現在の進捗状況

施策1

- ◆ 人材採用・育成プログラムの拡充・海外人材の活用



- 今期よりグループ共通の階層別人財育成プログラムの運用を開始
- 人材採用プログラムの拡充・海外人材の活用については、継続的に検討

施策2

- ◆ 合併新会社に相応しい新人事制度の設計
ゼニス羽田株式会社と株式会社ホクコンとの将来的な合併を視野に、多様な人材が活躍できる新人事制度を設計します



- 来期より運用開始予定の新人事制度の設計は概ね完了

施策3

- ◆ 情報システム・ICTインフラの整備
グループ間の情報共有による営業機会の創出、効率的な事業運営、多様な働き方等を実現するための整備を実施します



- 今期末に会計システム統合、2022年春以降に新基幹系システム導入に向けて、取り組み中

施策4

- ◆ グループガバナンス体制・リスク管理体制の構築
- ◆ グループ内組織再編の検討
既存事業とは異なるリスクを伴う新規領域への進出やM&Aに耐え得る体制を構築します

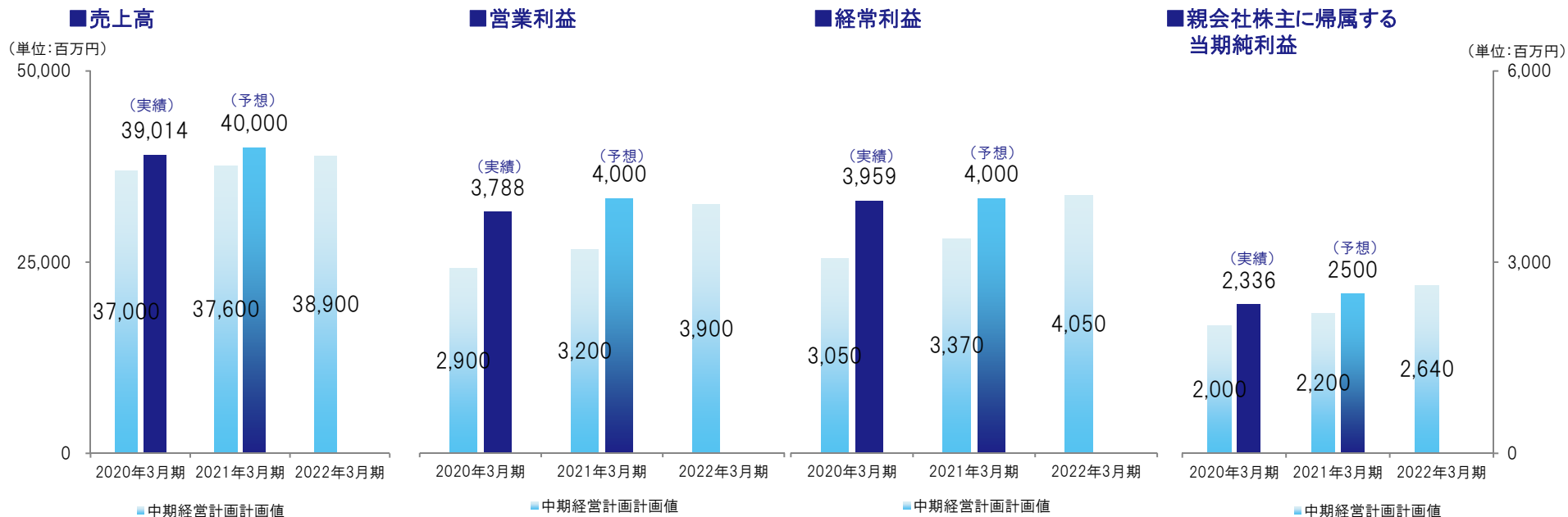


- 監査等委員会設置会社へ移行し、ガバナンス体制を一層強化

4-8. 連結業績目標（2019年5月24日公表）

- 本中計最終年度(2022年3月期)に、営業利益率 10.0%以上、ROE 10.0%以上を目標とします

(単位:百万円)	2020年3月期 中計計画値	2021年3月期 中計計画値	2022年3月期 中計計画値
売上高	37,000	37,600	38,900
営業利益	2,900	3,200	3,900
営業利益率	7.8%	8.5%	10.0%
経常利益	3,050	3,370	4,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	2,200	2,640



4-9. 株主還元方針

- 配当と自社株式の取得により、総還元性向30%を目処として、株主還元を実施する方針としています

		2020年3月期 実績	2021年3月期 予想
配当金	(年間)	60.0円	50.0円
	(期末配当)	50.0円	50.0円
	(特別配当)	10.0円	-
配当性向		22.9%	20.0%程度
総還元性向		30.0%程度	-

※2020年3月期実績は、2020年6月下旬開催の定時株主総会に付議する予定であります

1. 事業紹介と外部環境
2. ビジネスモデルとつよみ
3. 2020年3月期 決算概要
4. 2021年3月期 業績予想/中期経営計画の進捗

参考資料

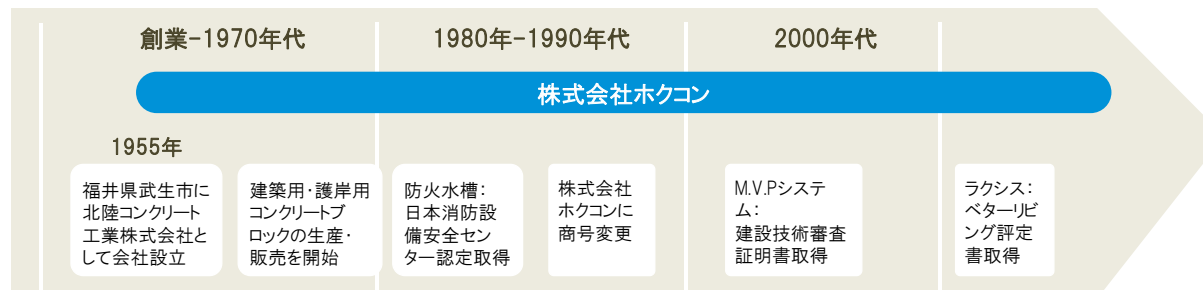


会社名	株式会社ベルテクスコーポレーション
本社所在地	東京都千代田区麴町5-7-2
代表者	代表取締役会長 花村 進治 代表取締役社長 土屋 明秀
設立日	2018年10月1日 ゼニス羽田ホールディングス株式会社(現 ゼニス羽田株式会社)と株式会社ホクコンとの共同株式移転により設立されました
資本金	3,000百万円
事業内容	下記の事業を営む会社の株式の保有を通じた事業活動の支配・統括 ・コンクリート事業 ・パイル事業 ・防災事業 ・その他事業
従業員数	連結 1,138名(2019年3月31日現在)
上場区分	東証2部(証券コード:5290)

ベルテクスグループ VERTEX ゼニス羽田株式会社



ベルテクスグループ VERTEX 株式会社ホクコン



2018年 10月1日



ゼニス羽田ホールディングスとホクコンは、共同株式移転の方法により、両社の完全親会社となる

株式会社 ベルテクスコーポレーション

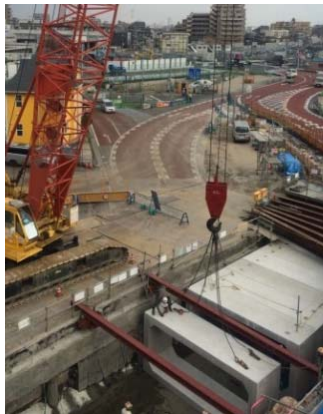
を設立、経営統合により新たな事業グループを創設しました。

※ 2019年4月1日付でゼニス羽田がゼニス羽田ホールディングスを吸収合併しています。

浸水対策事業

下水道事業(社会資本整備)

「浸水から守る」



下水や雨水を流す管路



マンホールのふたの下



公共施設の地下

No.1製品



ボックスカルバート



ヒューム管

No.1製品



マンホール
(円形)

No.1製品



マンホール
(矩形)



落差マンホール

No.1製品



地下
雨水貯留施設

道路事業

「道路を造る」



トンネル



大型アーチ部材
(トンネル用)



高速道路



プレキャスト製
防護壁

「無電柱化を図る」



(施工前)



(施工後)

街の無電柱化工事



電線地中化用部材
CC-BOX

メンテナンス事業

「長寿命化を図る」

老朽化した石積護岸



(高耐久性レジンコンクリートパネル
によるライニング施工後)



摩耗した固定堰(頭首工)



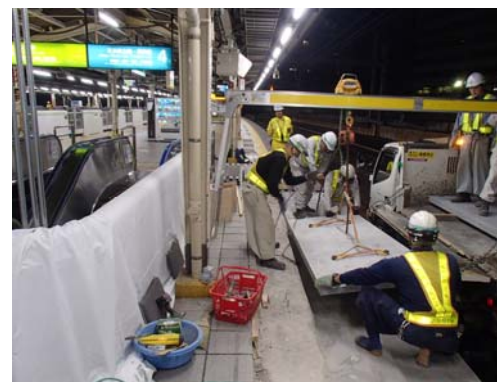
(高強度繊維コンクリートパネル
によるライニング施工後)



鉄道事業

「転落を防ぐ」

駅のホームドア対応床板設置工事



(施工後)



住宅・開発

「街を造る」



住宅地



No.1製品

宅地擁壁



防火水そう

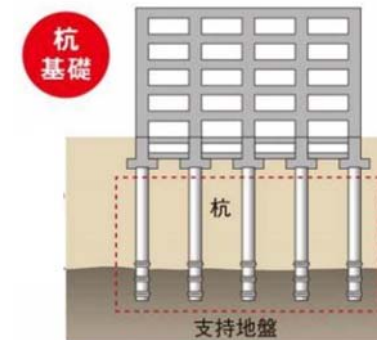


No.1製品

防火水槽



マンション等



パイル

防災

「落石から守る」

高エネルギー吸収型 落石防護柵



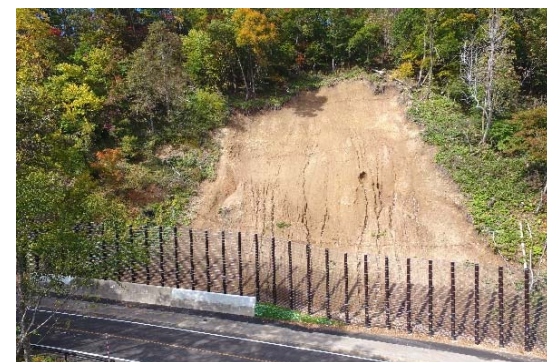
落石捕捉状況



「土砂災害から守る」

近年頻発する大型台風やゲリラ豪雨による土砂災害の対策として需要の増加が見込まれます

ループフェンスE(土砂対策用)



<お問い合わせ先>

株式会社ベルテクスコーポレーション
経営企画室

Tel : 03-3556-2801

本資料中の業績予想、事業計画等に関する記述は、本決算発表日時点における合理的な将来予測に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因で変更される場合がございます